

QSK

編集 特定非営利活動法人 大分DARC 年間購読料 3,000円
〒870-0021 大分県大分市府内町3-7-19 藤本ビル3階 TEL&FAX 097-574-5106

OPEN

ひらけごま!

SESAME!

No. 43

大分ダルク写真館 タイトル:ありがたき幸せ!

先日、大分県知事より「人権尊重社会づくり推進功労賞」をいただきました!直々に知事とお会いし、県内の依存症の状況や大分ダルクの活動をお話しさせていただきました!励みになります!皆様のおかげです!



ごあいさつ

ニュースレターを見て下さっている皆様、いつも大分ダルクをご支援下さり誠にありがとうございます。
世間では新型コロナウイルスの影響が日に日に大変なことになってきておりますが、皆様方はご無事でしょうか。大分県内も多数の方の感染者が出たことで各種イベントが続々中止となっております。得体の知れないウィルスの拡がりに不安はつのるばかりですが、1日も早く事態が収束することを祈るばかりです。

大分ダルクの現状ですが、メンバー全員に毎朝の検温とアルコール消毒の徹底、マスクの配布(数が少なくなってきました)を行っております。影響としては3月末に私を含めたダルクメンバー4人がエントリーしていた地元のマラソン大会が中止となりました。「マラソン大会にエントリー」とかっこつけて言いましたが、初心者向けの8キロコースです。最近仲間と近所の河原でジョギングを始めて、やっと6キロく

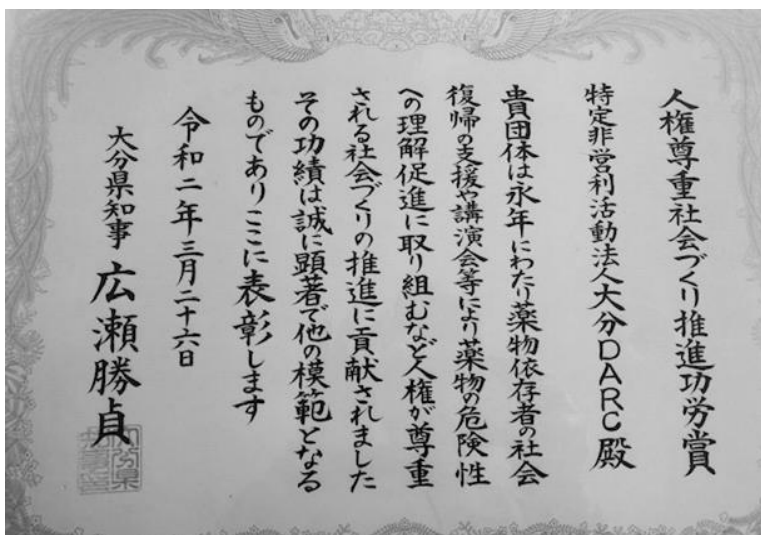
らい走れるようになってきただけに残念です。でもせっかく始めたことですからこのままジョギングを続けて、またの機会まで温存しておきます。

またご案内しておりました3月7日の大分ダルク講座も中止とさせていただきました。たくさんの方々にお申込みをいただいていたけども残念ですが、今秋以降に再度セミナー開催を考えておりますので、また改めてご案内させていただきます。



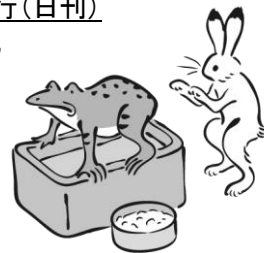
そんな中、ありがたいニュースをひとつ。表紙にも掲載させていただきましたが、先日、大分県知事より「人権尊重社会づくり推進功労賞」なる賞をいただきました。障がい者支援や依存症関係ではなく、人権尊重という分野でこのような賞をいただけたのは意外ではありましたが、日頃から活動を支えて下さる皆様のおかげと感謝するとともに、今後も引き続き精進していきます。

特定非営利活動大分 DARC
施設長 鈴木 貴博



HOT DARC PRESS

ホットダルクプレス



「回復への道のり」 text by カミ

自分が初めて覚醒剤を使用したのは15歳の時です。当時塗装屋で働いていたツレが職場の先輩に覚せい剤を勧められて手を出したらしく、俺にも勧めるようになりました。「シャブはいいぞ、こんなに気持ちのいいものはこの世にないぞ」としつこく何回も誘ってきました。自分はそれまでに一年近くシンナーにどっぷりはまり、鑑別所に入り何とか止めることができた経験があり、子供心にも自分はあまりやさい性格なのだという自覚を持っていて、頑なに断っていたのですが…。ある晩、そのツレを含めた何人かで飲みに行ったとき、ベロベロに酔っぱらった勢いと「根性ねえな」という言葉で火が付く「よーしわかった！ やってやる！」と言い、3人で1畳あるかないかのコインシャワーでぎゅうぎゅう詰めになりながら回し打ちをしたのが最初です。

初めて使った覚せい剤は髪の毛が逆立ち、宙に浮いてるような、スーパーサイヤ人になったような感覚でした。あまりの気持ち良さに「これはやばい」と思い、その時は1回だけで止めました。代わりにアルコールにはまっていきました。初めは仲間と飲むだけだったのですが、いつの日から朝から晩まで飲むようになり、気付いたらアル中になっていました。そんな生活が23歳まで続きましたが、ある時街で暴力団の先輩に会い「お前シャブやったことあるだろう、いいネタあるからやってみろ」と言われました。前回使った時も1回で止められたので、大丈夫だろうと軽い気持ちで使ったのが大きな間違いでした。気付いた時にはドボン中になっていました。それからは毎日がサバイバルでした。使うために生き、生きるために使うことのくり返しです。幻覚・幻聴・妄想でおかしくなり何度も自殺も試みましたが、死ぬことは出来ませんでした。

自分は今年で49歳になります。覚せい剤で何回も矯正施設に入りましたが、心の底から真剣に止めたいと思ったのはこれが初めてだと思います。なぜ「思います」というと、自分は今回で2回目のダルクの入所になります。9年前に沖縄ダルクに入所しました。当時の沖縄ダルクは非常に厳しく、一人行動禁止はもちろん、財布も自分で持たずに先行く仲間にもってもらいました。初めのうちはたまらなく息苦しかったのですが、プログラムのエイサー(沖縄の舞踊太鼓)と出会い変わりました。心を開き、やる気も取り戻し、徐々に回復していきましたが、今思うとそれは間違いでした。自分はただ褒められたい、尊敬されたいという気持ちだけで頑張り過ぎてたような気がします。

大分ダルクにつながり1年4か月が経ちます。1年前にアルコールでスリップしました。シャブが手に入っていたら、間違いなく使っていました。もし使っていたら大分に居なかったかもしれません。地元の横浜に帰り、今頃は矯正施設か精神病院か死んでいたかもしれません。入手できなかったのは、ハイパーパワーの配慮だと今は思うようにしています。スピリチュアルに目覚め、完全にハイパーパワーを信じられるようになったかということ正直そうではありません。でも否定もしていません。要所要所、ハイパーパワーの働きが作用しているのを感じ取る事が出来ます。今はまだこのくらいでいいんだ、と自分に言い聞かせています。

3月29日はクリンタイム1年のバースデーです。この1年、平坦な道のりではありませんでした。いろいろな障害物がジャマしてきましたが、何とか滑ることなく1年の節目を迎えることができそうです。これは自分ひとりじゃ成し遂げられなかったことであり、ダルクや仲間のおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、最初の一回に手を出さないということを肝に銘じてゴールの無い回復という道のりを、あせらずにゆっくりと歩いて行きたいと思えます。

スタッフさとしのどぎゃんかい!!?

皆様こんにちは、新型コロナウイルスの影響で、ダルクでのイベントの延期などご関係者の方々には大変ご迷惑をかけしております。私たちダルクメンバーも、戸惑っています。3月1週目に予定していましたダルク講座、湯布院でのギャザリング、3月29日には、大分ダルクの仲間数名は、8キロマラソン大会に初出場の予定でした、残念ながら大会は中止になってしまいました。

マラソンをエントリーした事で、ダルクのプログラムには、ジョギングが取り入れる事ができました。

いくつもの大会が中止になっている、今でも仲間達は、大分川の土手を週1~2回は懸命に走っています。走る事が苦手の仲間達は練習を重ね走れるようになってます。

仲間の懸命な走る姿を見るたびに、次の参加可能なマラソンを探がさんといかんばいと思っただけです。

「回復すると仲間達とマラソンを走る事が出来たりすとぞ！」なんてどこかのミーティングか講演かニュースレターで自慢出来るのは、もう少し先になりそうです。乞うご期待。

薬物依存回復施設職員研修に参加しました。ダルクの職員をして6年で初めて他県での研修に参加した様に思います。会場は、数年前私がダルクに繋がった当時、息子の大学の入学式に参加の為に泊まったホテルの近くの品川の町でした。研修の内容はドクターの講義や各地のダルク等の施設の方による講義でした。講話を聞き日頃の仕事に自信を持てる事もありましたが、自分自身のスキルアップを感じる事も沢山ありました。依存症の回復の難しさと社会の理解や地域との関わりなどを他県の顔見知りのダルクの仲間達が話してくれました。どこの施設でも苦勞を抱えながら一筋縄ではいかぬ仲間達の回復を日々サポートし続けて



いる。大変だが音楽やスポーツなど楽しむ事も忘れない施設が多かった様に感じました。大分ダルクでの新しいプログラムや自分自身のスキルアップに取り組む時期だと思いました。今回、忙しい中研修に行かせてもらったり、全国の温かい仲間たちに囲まれ研修が出来た事、感謝しています。

数年前の品川にいた自分は生きる事も死ぬ事も出来なかったのに…

活動報告

1月

- 1~3日 お正月レクレーション
- 15日 大分保護観察所 ステップアッププログラムA
- 22日 大分保護観察所 ステップアッププログラムB
- 23日 更生保護佐伯大会 講演
- 27日 大分刑務所 薬物離脱指導
- 30日 大分少年院グループワーク



2月

- 4日 WRAP プログラム
- 9日 オープンダイアログ研修@河村クリニック
- 12日 大分保護観察所 引受人会
- 18日 大分刑務所 薬物離脱指導
- 19日 大分保護観察所 ステップアッププログラムA
- 25~26日 薬物依存回復施設職員研修
- 26日 大分保護観察所 ステップアッププログラムB
- 28日 大分県再犯防止推進協議会



3月

- 3日 大分刑務所 薬物離脱指導
- 18日 大分保護観察所 ステップアッププログラムA
- 25日 大分保護観察所 ステップアッププログラムB
- 26日 大分県人権尊重社会作り推進功労賞授与式
- 27日 鹿児島刑務所 施設面接



毎月第1土曜日 家族教室「葉の花の会」
毎月第2第4土曜日 大分スマーズ
毎月第1月曜日 河村クリニックメッセージミーティング
毎月2回 ヨーガ療法プログラム
毎月第3木曜日 大分タルクを支援する会

大分タルクホームページ&ブログアドレス

リニューアルし日々の活動をぼちぼち更新しています!

「大分タルク Jimdo」で検索

Facebookもやってます! よろしければどうぞ!

「大分タルク facebook」で検索



感謝

いつも大分DARCをご支援くださりありがとうございます。大分DARCは皆様の温かいお心によって運営されています。ここに R 元年 12 月 24 日から R2 年 4 月 4 日までに献金・献品をいただいた方々をご紹介します。

◎お告げ聖母トラピスト修道院様 ◎ラングリ・レイモンド様 ◎川村岳人様 ◎橋本美枝子様 ◎足利能彦様
◎古庄玄知様 ◎渡辺理恵様 ◎安達京子様 ◎阿部美喜雄 ◎貝塚光男様 ◎亀川修道院様 ◎平岩純子様
◎田口大輔様 ◎一般社団法人 SW ライフ様 ◎中津サレジオ修道院様 ◎清水りえ様 ◎匹田久美子様
◎本田維憲様 ◎亀井正照様 ◎けさまる法律事務所 今朝丸貴様 ◎徳田靖之様 ◎(有)春木園 吉中夏木様
◎秋成淳行様 ◎重弘静江様 ◎河上しげみ様 ◎藤川洋子様 ◎八谷隆之様 ◎カトリック大分教会 マリア会様
◎松浦由美様 ◎ウインゴルド・カロリン様 ◎駒田信二様 ◎植山朋代様 ◎宮脇和子様 ◎中木陽子様
◎河村クリニック様 ◎三重野友親様 ◎その他匿名希望の方々

献品をいただいた方々

●大分トラピスト修道院様 ●フードバンクおおいた様 ●八谷隆之様 ●中嶋龍生様 ●三重野友親様
●その他匿名希望の方々(順不同)

☆全てのお名前をチェック致しましたが、万が一記載漏れ・誤字等がありましたらご容赦下さい。

☆作業簡素化のために全てに振込用紙を入れておりますが、強制的なものではありませんのでご了承下さい。また、匿名を希望される方はお手数ですがその都度、その旨を通信欄にお書き下さい。

お詫びとお知らせ

3 月 7 日に開催を予定しておりました「令和元年度大分ダルク講座」ですが、昨今のコロナウイルスの問題を鑑み中止とさせていただきます。ご来場を予定して下さっていた皆様にはご迷惑をおかけいたしました。また時期を改めて開催する予定ですので、決まり次第ご案内させていただきます。

◎引き続きご寄付のご協力をお願い致します◎

新しいメンバーも増えてきました。コロナウイルス問題の最中、残念ながら回復プログラムにも少なからず影響が出てきておりますが、私たちの目的はひとつ、依存症からの回復です。どうか引き続き私たちの回復を支えて下さい。いつも皆様にはお願いばかりで心苦しい限りですが、ご協力をお願い申し上げます。

※ゆうちょ銀行の振込口座が変更いたしました。

新しい振込口座は下記になります。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

新振替口座 ゆうちょ銀行 口座名義「特定非営利活動法人 大分 DARC」記号番号 01730-3-151287

編集 特定非営利活動法人 大分DARC

定価 1 部 350 円 (会費に含まれる)

〒870-0021 大分県大分市府内町 3-7-19 藤本ビル 3 階

Tel&Fax 097-574-5106

発行 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0054 福岡県福岡市東区馬出 2-2-18

薬物依存者本人・ご家族のご相談は、随時行っています。月曜～金曜午前 10 時～午後 5 時まで
お問い合わせは大分ダルクまでお願いします。